



借金のうち国が返してくれる金額は

河合 克平議員

一般会計分で192億9468万円だ

総務部長

問 借金が多いか少ないかは、財政が厳しいかどうかの一つの視点になる。現在の借金はいくらか。

答 平成30年度末見込みで一般会計分が1996億3256円になる。

問 国が返してくれる、いわゆる地方交付税として国が措置してくれる額は。

答 公債費として措置される額については、29年度との対比が好ましい。一般会計分の29年度末で、206億484万円の起債残高に対して、交付税措置がされる見込額としては、192億9468万円だ。

問 借金が多いというが、いわゆる見かけの借金の金額だ。国が返す交付税措置分が192億9468万円とするなら、差し引きすると実質の借金は13億3877万円だ。名目の金額は大きいですが、国が返済してくれる分を差し引くと、実質的な借

金分というのは本当に少ないというのが本市の財政状況だ。

次に、将来の負担がいくらぐらいかを推しはかる指数である将来負担比率について、市の状況は。

答 将来負担比率について、この指標は、現在マインナスなので、数字としては上がっておらず、将来に対する負担はゼロであると解釈している。

問 どのくらいで将来負担率が出てくるのか。

答 現在は数字をはじけないが、扶助費や施設等の整備、長寿命化を考えると近々、状況は悪くなると想定する。

その他の質問

- コンプライアンスのある行政運営を
- 子ども医療費完全無料化を
- 施設の使用料の値下げ、減免の拡大を



▲市の借金の状況